

## 令和7年度外部評価結果の概要（普及指導体制）

項目	外部評価委員コメント	対応措置方向
1 普及指導体制や人員について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・適切かつ妥当と考えられる。</li> <li>・妥当である。</li>   <li>・今後、農業者の減少という基盤縮小を見据えた中で、職員の方の業務効率化を進めるとともに、職員の方の育成期間や年齢構成バランスなどの観点で、最適な配置並びに新規採用計画の検討を行っていただき、普及事業の機能維持をお願いしたい。</li>   <li>・どの振興センターにおいて全体的に人員不足に思える。</li> <li>・普及活動に総勢127名で取り組んでおり、人員は近年微減傾向。年々守備範囲が広まる中厳しい状況は察しられる。年代別の構成を加味しながら増員は必要である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・県農業の振興という目的に、関係機関と連携し、今後も、高い成果と効率性を兼ね備えた活動が進むよう更なる努力をしてまいります。</li>   <li>・ご指摘のとおり、農業普及指導員等は、50歳を超える職員が6割程度となっており、近年、新採職員が増えています。新採を含む若手職員が、先輩からの指導を受けながら、普及活動に邁進するよう取り組んでまいります。</li>   <li>・普及指導に携わる職員の人数は、限られていることから、年代別構成を踏まえつつ、最大の機能が発揮されるよう引き続き、最適な職員配置を進めます。</li> </ul>
2 普及指導活動の方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・適切かつ妥当と考えられる。</li> <li>・妥当である。</li>   <li>・今後は更にIT、AIの導入など新技術の普及に向けて専門的な知識を有する企業との連携が必要である。</li>   <li>・JA指導員との連携を強化してほしい。</li> <li>・活動の基本は総合力を発揮した展開に尽きるが、農業現場の農協と市町村との連携で具体的な行動を期待したい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・県農業の振興という目的に、関係機関と連携し、今後も、高い成果と効率性を兼ね備えた活動が進むよう努力してまいります。（再掲）</li>   <li>・IT、AI、スマート農業技術等新技術の導入は、農作物の品質向上や農作業の省力化等農業現場の緊急課題の解決に必要不可欠であり、農業機械メーカー等専門知識を有する企業と連携しながら農業者の技術力、普及指導員の指導力向上に努めてまいります。</li>   <li>・ご指摘のとおり、JAや市町村等の関係機関との連携は普及指導活動の根幹をなすものであり、農業現場の課題解決のため、今後も連携して活動を推進してまいります。</li> </ul>

項目	外部評価委員コメント	対応措置方向
3 普及指導員の資質の向上の取り組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>・適切かつ妥当と考えられる。</li> <li>・妥当と思う。</li> <li>・妥当である。</li>   <li>・ベテラン職員の経験を若手に引き継いでいくための具体的な施策が必要である。</li>   <li>・スペシャリスト機能・コーディネート機能を兼ね備えた人材像を目指すとのあるが、指導員研修計画に織り込んだ効果的な研修を進めてほしい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き、普及指導員の資質向上について、国や試験研究機関等への派遣研修、集合研修を通じて、実践的な普及指導力の向上、強化を図ってまいります。</li>   <li>・今後もベテラン職員からの技術の引継ぎ・伝承が円滑に進むようOJT研修等を引き続き行うほか、国研修等を通じ効果的に若手職員の早期育成を進めてまいります。</li>   <li>・ご指摘のとおり、毎年、経験年数や資質・能力の状況、専門項目を考慮した「普及指導員等研修計画」を作成し、研修を実施しており、今後も、普及指導員に対する計画的かつ効果的な研修を実施してまいります。</li> </ul>
4 普及指導活動の実効性の確保	<ul style="list-style-type: none"> <li>・適切かつ妥当と考えられる。</li> <li>・指導活動は適切に行われている。</li> <li>・妥当である。</li>   <li>・計画・評価は適切に策定・実施されています。普及員が農業生産現場の問題点を把握し改善策を検討され、関係する方々と連携して実行し、農業生産者から評価をいただいていることが確認できた。</li> <li>・7年度の濃密課題にあるように各分野での実効的な分析を踏まえた取り組みを評価したい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・関係機関との連携のもと、今後も実効性のある普及活動を推進してまいります。</li>   <li>・ご指摘のとおり、内部評価について年2回定期的に実施することで、目標に対する達成度を十分検討し、実効性のあるものにするよう進めてまいります。</li> </ul>
普及指導全般についての自由記載意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各課題への取り組みと関連してこれまでの成果だけではなく課題ごとの失敗の原因、成果の要因などより具体的な評価や示唆点の提示も必要と考えられる。</li>   <li>・各課題について他の振興センターとの情報交換体制の構築や県全体の取り組みとデータの確保と評価表の提示も必要と考えられる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ご指摘については、各課題の内部評価等を通じて課題目標に対する達成度を十分検討、失敗も含めた具体的な評価を関係者で共有することで、実効性の普及活動にするよう進めてまいります。</li>   <li>・ご指摘のとおり、県全体で、チーム会議や検討会、成果発表会等を通じて、普及活動の取組みや情報の共有、普及活動の評価を実施しております。引き続き、関係者も含め情報共有等に努めてまいります。</li> </ul>

項目	外部評価委員コメント	対応措置方向
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中長期的であり、緊急課題でもある新規就農者確保・育成については現在取り組んでいる ICT を活用したスマート農業及び若手・女性の後継者育成などは You tube や SNS などを活用したより幅広い広報を行うことも必要と考えられる。</li> <li>・新規就農者の確保・育成については、今後ますます重要な課題となることから、一足飛びにはいかず地道な活動になると思うが、これからも継続して取り組んでいただきたい。</li> <li>・最近の異常気象等で指導には緊急性が多くなってきていると思う。生産者側も人手不足という問題が起きている。これらは継続的な問題あり課題でもあると思う。それに対し県全体の普及指導員が不足しているように思える。農家、営農組織に顔を出し対話できる機会を増やしてほしい。</li> <li>・今一番悩ましいのは高温障害だ。近年の季節のない高温傾向は収まりそうにない。この状況が続くことが当たり前との認識の上での農作業が基本となってくる。回りではいつものように播種しても芽が出ないとの声が多数あり、何度も繰り返してやっと芽が出たとのこと。高温障害の結果だと思うが、これに対する対策・種苗会社の情報とか高温耐性の新品種の紹介など出荷組合の会合でリアルタイムで紹介してほしい。</li> <li>・異常気象や気候変動に対応するための施策</li> <li>・新規就農後の定着支援、アフターフォロー</li> <li>・青年農業者の会への参加促進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ご指摘のとおり、新規就農者確保・育成や若手・女性の後継者育成に向けては、関係機関と連携し、スマート農業技術の普及や様々なツールを活用した幅広い広報に取り組んでまいります。</li> <li>・ご指摘のとおり、新規就農者の確保・育成のため、関係機関と連携のうえ、新規就農希望者の円滑な就農、その後の支援を引き続き取り組んでまいります。</li> <li>・農業者等と密に接しつつ、効率よく普及活動を取り組めるよう、限られた普及職員の最適な職員配置を進めてまいります。</li> <li>・高温等の異常気象が多発するなかで、農作物の安定生産のため、関係機関と連携のもと、最新の農業技術の実証を踏まえつつ、農業者への指導、助言を行えるよう、努力してまいります。</li> <li>・高温等の異常気象が多発するなかで、農作物の安定生産のため、関係機関と連携のもと、最新の農業技術の実証を踏まえつつ、農業者への指導、助言を行えるよう、努力してまいります。(再掲)</li> <li>・ご指摘のとおり、新規就農後の定着支援について、関係機関と連携のうえ、新規就農希望者の円滑な就農に向けた支援を引き続き取り組んでまいります。</li> <li>・青年農業者の会の持続的発展のため、関係機関や青年農業者とともに会の活動充実や周知に努めてまいります。</li> </ul>

